

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年7月9日 第15報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	22		
(珪) <i>Synedra acus</i>	3		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	50		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	190		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	1500		
(緑) <i>Scenedesmus sp.</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subprorum</i>	1		
(緑) <i>Closterium gracile</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	18		
(緑) <i>Staurastrum arctiscon</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	25	1.4	0.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1801	98.6	99.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1826	総体積	1.84E+06
種類数	10	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

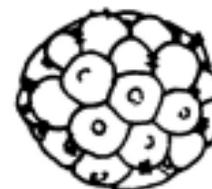
動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	4300

第2優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 その他の甲殻類	220

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノビウムは球形であり、大抵32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント:

植物プランクトンは前回の調査とは異なり、ケラスツルム、ピワクンショウモが増加した。動物プランクトンはゾウミジンコが非常に多く、次いでネコゼミジンコが多かった。これらの種は細菌を摂食するが今回の細菌数をAODC法で測定したところ、 2.5×10^7 cells/mlと大きな値であった。